

第15回 家計について

このコンテンツでは、不二家ファミリー文化研究所が独自に行った、さまざまなアンケート調査の結果を、毎月皆さんにお届けしています。

今回不二家ファミリー文化研究所が行ったのは、全国の20代～60代の既婚女性188名を対象とした「家族(家庭)」に関するアンケート。

第15回は、「家計」についてです。

Q 家庭の家計で、一番かかる費用は何ですか？

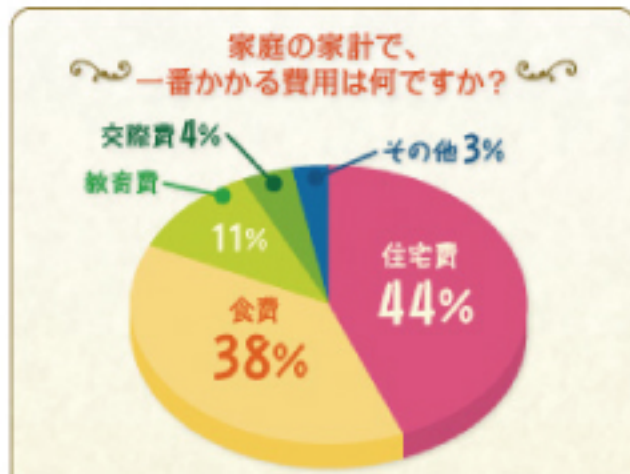
まずは、「家計で、一番かかる費用」についてです。

「ご家庭の家計で、一番かかる費用は何ですか？」という質問をしたところ、大きな割合を占めていたのは、「住宅(家賃、住宅ローン)」44%、「食費」38%という結果になりました。

家庭の家計で、一番かかる費用は何ですか？

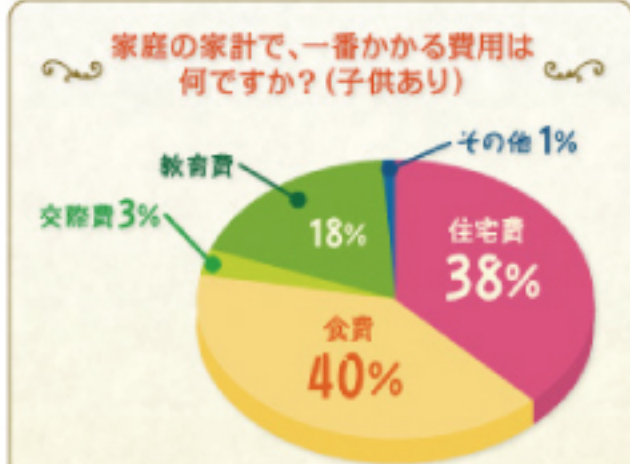
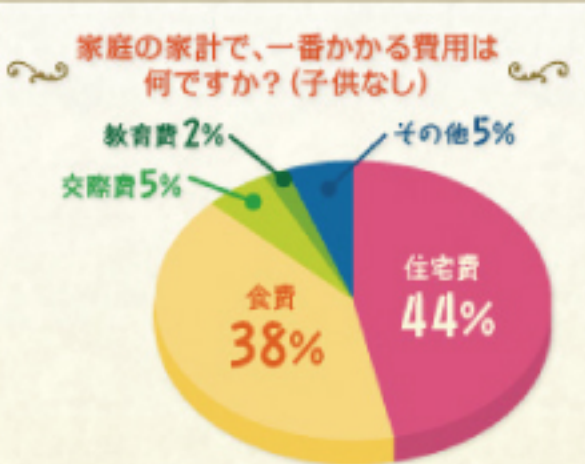
1位	住宅費(家賃、住宅ローン)	85
2位	食費	71
3位	教育費	20
4位	交際費	7
5位	その他	5

その他(税金、特別費、旅費、教養娯楽、趣味など)



また、こちらの結果を「子供あり」、「子供なし」で分別してみました。すると、「子供なし」に比べて、「子供あり」の方では、「食費」と「教育費」の割合が多いことが分かります。

やはり、お子さんが居る家庭では、「教育費」だけではなく、「食費」もかかるんですね。



Q 家計のやりくりは、主にどなたが行っていますか？

次に、「家計のやりくりは、主にどなたが行っているのか」を聞いてみました。

すると、8割以上の方が「自分(妻)」という結果になり、奥様が家計を握っているご家庭が非常に多いことがわかりました。



続いて、家庭の財布を握られている奥様たちが普段心掛けている節約術について教えてもらいました。

普段、あなたが心がけている節約や、節約術があったら具体的に教えてください。(一部抜粋)

買い物に関する節約術

- ・買い物は生協の個人宅配と、週1回のスーパーで計画的にする。食材を絶対に無駄にせずを使い切る。調味料などは底値の時にまとめ買いをしておく。行きたくない、付き合いランチなどは断る。(子供2人/45歳)
- ・無駄な食費を抑える。野菜はきちんと使い切る。何日分かのメニューを考えて購入する。(子供1人/28歳)
- ・ストックができる商品はなるべく底値で買う。節約について日々考えている。(子供2人/52歳)
- ・欲しいと思った物があっても、すぐには購入せず、1週間程、時間を置いてみる。すると大抵の物が必要なくなる。(子供なし/53歳)
- ・余計なものは買わない(衝動買いしない)。不用品はオークションで売る。(子供1人/57歳)
- ・普段の買い物はポイントが高くつく日を狙って決まった店舗でなるべく得に買い物できるようにする。(子供1人/39歳)
- ・例えば食品などは広告を見て値段を調べる。季節物の洋服等はそのシーズンが終わるころに半額になるので、待てるものはその時に買うようにしている。(子供なし/62歳)

水道・光熱費に関する節約術

- ・食器を洗う時に水を出し過ぎない。旦那が帰って来るまでは着こんで暖房節約。(子供なし/26歳)
- ・電気はこまめに消す。エアコンの設定温度を夏は高く、冬は低めにする。洗いの水は出し過ぎない。お風呂の水で洗濯する。ガスを使う時は一度にまとめて使う(何回もつけたり消したりしない)。(子供なし/36歳)
- ・寒ければ厚着、暑ければ薄着を心がけ、暖房・冷房を極力控える。この冬は、トイレの便座・温水以外、暖房器具はほとんど使わずに過ごしました。ホットカーペットやこたつは出しましたが、電源は1、2回しか入れませんでした。夜は湯たんぽを使い、また、体温で暖かくなるエコシート(大・小)を購入し、畳の部屋と革製ソファの上に敷き活用しました。(子供なし/54歳)
- ・使っていないコンセントは抜く。お風呂の給湯温度は気温に合わせて調節する。(子供2人/38歳)

その他

- ・生活費を項目別に分け、少額ずつに袋分けすることで見目を少なくして余裕がないと錯覚させる。買い物を1週間に1度に決めてポイント付与率の高い店舗でまとめて買う。(子供1人/29歳)
- ・外食をあまりしない。予算を立てて毎日記帳し使い過ぎがないか確認する。(子供なし/65歳)
- ・天気の良い日は徒歩で行動する。(子供4人/33歳)
- ・買い物に行くのに沢山お金を持って行かない。(子供なし/67歳)

1番多かったのは、買い物に関する節約術で、中でも特に目立ったのが、「食費」に関する節約術でした。家計でかかる費用の2位にも挙がっていた食費の節約は主婦の方々の「スーパーの安売りの利用」や「食材の使い切り」など日々の「計画的な買い物」によって行われているようです。

また、水道・光熱費に関する節約術では、「お風呂のお湯を洗濯に使用する」や「使わない電化製品のコンセントは抜く」など、どれもすぐに実践できるような、ちょっとした節約方法が挙げられていました。その他にも、「お店に行く頻度を減らすこと。(子供1人/29歳)」、「用事がない時は外出しない。(子供1人/27歳)」など、無駄遣いをしないための工夫をしている方もいらっしゃるようです。

今回の調査は、いかがでしたか。

家族構成によって出費の割合は異なりますが、どのご家庭も節約に対する意識の高さがうかがえました。「食材の使い切り」、「お風呂のお湯の再利用」など、主婦たちのこうした節約術は家庭のお財布だけではなく、地球環境にも優しいものになっているのではないのでしょうか。

皆さんもぜひ、参考してみてくださいね。

次回は「収入」に関する調査結果をお届けします。お楽しみに。